



取り込み中

- [サイレントの概要 \(1 ページ\)](#)
- [サイレントの設定のタスク フロー \(2 ページ\)](#)
- [応答不可の連携動作と制約事項 \(11 ページ\)](#)
- [応答不可のトラブルシューティング \(14 ページ\)](#)

サイレントの概要

サイレント (DND) は、次のオプションを提供します。

- [コール拒否 (Call Reject)]: このオプションは、着信コールが拒否されるように指定します。 [DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] パラメータの設定に応じて、電話はビープを再生するか、コールの点滅通知を表示します。
- [呼出音オフ (Ringer Off)]: このオプションは、呼出音をオフにしますが、ユーザがコールを受け付けられるように、着信通話情報をデバイスに表示します。

DND を有効にすると、通常の優先順位の新しい着信コールすべては、デバイスの DND 設定を受け入れます。 Cisco Emergency Responder (CER) のコールや、 Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) のコールなど、優先順位の高いコールの場合、デバイスの呼出音が鳴りません。 さらに、DND を有効にすると、自動応答機能は無効になります。

ユーザは、次の方法により電話でサイレントを有効化できます。

- ソフトキー
- 機能ボタン
- Cisco Unified Communications セルフケア ポータル



(注) Cisco Unified Communications Manager から電話ごとに、この機能を有効または無効にすることもできます。

電話機の動作

サイレントを有効にすると、Cisco Unified IP Phone に「サイレントが有効になっています (Do Not Disturb is active)」というメッセージが表示されます。一部の Cisco Unified IP Phone には、DND ステータスアイコンが表示されます。個々の電話モデルがサイレントを使用する方法の詳細については、特定の電話モデルに関するユーザガイドを参照してください。

DND を有効にすると、[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] の [着信呼警告 (Incoming Call Alert)] で指定されているとおりに、電話への着信コール通知をユーザは受信しますが、優先順位の高いコール (Cisco Emergency Responder のコールや MLPP のコールなど) の場合を除いて電話が鳴ることはありません。また、電話が鳴っているときに DND を有効にすると、電話は呼出音を停止します。

ステータス通知

サイレントは、SIP デバイスと Cisco Skinny Call Control Protocol (SCCP) デバイスの両方でサポートされています。

SIP 電話は、SIP PUBLISH メソッドを使用して、DND ステータスの変更を Cisco Unified Communications Manager に通知します。Cisco Unified Communications Manager は、Remote-cc REFER 要求を使用して、DND ステータスの変更を SIP 電話に通知します。

SCCP 電話は、SCCP メッセージングを使用して、DND ステータスの変更を Cisco Unified Communications Manager に通知します。

サイレントの設定のタスクフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	電話機能一覧の生成	どの電話がサイレント設定をサポートしているかを確認するには、[Cisco Unified Reporting] から電話機能レポート一覧を実行します。 (注) SIP を実行する Cisco Unified IP Phone 7940 および 7960 は、サイレント機能の下位互換性を実装しており、SIP プロファイルで設定できます。
ステップ 2	話中ランプフィールドステータスの設定 (3 ページ)	話中ランプフィールドのステータスのサービスパラメータを設定します。
ステップ 3	共通の電話プロファイルでのサイレントの設定 (4 ページ)	これはオプションです。共通の電話プロファイルに対するサイレント設定ネッ

	コマンドまたはアクション	目的
		トワーク内にある電話機のグループに対してサイレント設定を適用するには、プロフィールで設定します。
ステップ 4	電話へのサイレント設定の適用 (5 ページ)	電話にサイレント設定を適用します。
ステップ 5	ソフトキーまたは機能ボタンのどちらかを使用しているかによって、次のタスクのいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • サイレント機能ボタンの設定 (6 ページ) • [サイレント] ソフトキーの設定 (8 ページ) 	電話機にサイレント機能ボタンまたはソフトキーを追加します。

話中ランプフィールドステータスの設定

[**BLF ステータスが DND を示す (BLF Status Depects DND)**] サービス パラメータを設定することにより、BLF ステータスで着信拒否を示す方法を設定できます。BLF ステータスを設定するには、次の手順を実行します。

始める前に



- (注)
- DND のビジョー ランプ フィールド(BLF)プレゼンス ステータスは、共有回線 DN に登録済みのすべてのデバイスが DND に設定されている場合にのみ機能します。
 - Jabber for iOS または Jabber for Android を同じ DN 上で使用している場合、Jabber for iOS または Jabber for Android が登録されていないが設定済みである場合でも、登録と見なされません。

[電話機能一覧の生成](#)

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[システム (System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)] の順に選択します。
- ステップ 2** 設定するサーバの [Cisco CallManager] サービスを選択します。
- ステップ 3** [クラスタ全体のパラメータ (システム - プレゼンス) (Clusterwide Parameters (System - Presence))] ペインで、[**BLF ステータスが DND を示す (BLF Status Depects DND)**] サービス パラメータに次のいずれかの値を指定します。

- **はい (True)** : デバイスでサイレントが有効になっている場合、そのデバイスまたはラインアピアランスの BLF ステータス インジケータにサイレント状態が反映されます。
- **いいえ (False)** : デバイスでサイレントが有効になっている場合、そのデバイスまたはラインアピアランスの BLF ステータス インジケータに実際のデバイス状態が反映されません。

次のタスク

次のいずれかの手順を実行します。

[共通の電話プロファイルでのサイレントの設定 \(4 ページ\)](#)

[電話へのサイレント設定の適用 \(5 ページ\)](#)

共通の電話プロファイルでのサイレントの設定

共通の電話プロファイルを使用すると、サイレントを設定し、そのプロファイルを使用するネットワーク内の電話のグループにこれらの設定を適用できます。

始める前に

[話中ランプ フィールド ステータスの設定 \(3 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] を選択します。

ステップ 2 [DND オプション (DND Option)] ドロップダウンリストから、サイレント機能による着信コールの処理方法を選択します。

- [コール拒否 (Call Reject)] : 着信通話情報がユーザに表示されません。[DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] パラメータの設定に応じて、電話はビープを再生するか、コールの点滅通知を表示します。
- [呼出音オフ (Ringer Off)] : このオプションは、呼出音をオフにしますが、着信通話情報がデバイスに表示されるため、ユーザはコールを受け付けることができます。

(注) 携帯電話とデュアルモード電話の場合、[コール拒否 (Call Reject)] オプションのみを選択できます。

ステップ 3 [着信コールアラート (Incoming Call Alert)] ドロップダウンリストから、サイレントがオンになっている場合に電話ユーザに着信コールを警告する方法を選択します。

- [無効 (Disable)] : コールのビープ通知とフラッシュ通知は障がい者向けです。[DND 呼出音オフ (DND Ringer Off)] オプションを設定すると、着信通話情報は引き続き表示さ

れます。ただし、[DND コール拒否 (DND Call Reject)] オプションの場合、コールアラートが表示されず、デバイスに情報が送信されません。

- [フラッシュのみ (Flash Only)] : 電話は着信コールをフラッシュします。
- [ビープ音のみ (Beep Only)] : 電話に着信コールのフラッシュアラートが表示されます。

ステップ 4 [保存] をクリックします。

電話へのサイレント設定の適用

この手順は、Cisco Unified IP Phone でサイレント設定を適用する方法について説明します。
[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で [電話機の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウから、DND 設定を適用できます。または、共通の電話プロファイルに DND 設定を適用して、そのプロファイルを電話機に適用できます。

始める前に

共通の電話プロファイルを使用している場合、[共通の電話プロファイルでのサイレントの設定 \(4 ページ\)](#) を実行してください。

それ以外の場合は、[話中ランプフィールドステータスの設定 \(3 ページ\)](#) を実行してください。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM 管理から、[デバイス]>[電話機] を選択します。

ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックして、サイレント設定を適用する電話機を選択します。

ステップ 3 共通の電話プロファイルからサイレント設定を適用するには、[共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] ドロップダウンリストから、サイレント設定を適用したプロファイルを選択します。

ステップ 4 電話機でサイレント設定を有効にする場合は、[サイレント] チェックボックスをオンにします。

ステップ 5 [DND オプション (DND Option)] ドロップダウンリストで、DND 機能を使用した着信コールの処理方法を次のオプションから選択します。

- [コール拒否 (Call Reject)] : 着信通話情報がユーザに表示されません。設定に応じて、電話機からビープ音が鳴るか、フラッシュ通知が表示されます。
- [呼出音オフ (Ringer Off)] : ユーザがコールに応答できるよう着信通話情報がデバイスに表示されますが、呼出音は鳴りません。
- [共通プロファイル設定を使用 (Use Common Profile Setting)] : このデバイスに指定された共通の電話プロファイルのサイレント設定が使用されます。

- (注) SCCP を実行している 7940/7960 電話の場合、選択できるのは [呼出音オフ (Ringer Off)] オプションだけです。携帯デバイスとデュアルモード電話の場合、[コール拒否 (Call Reject)] オプションのみを選択できます。携帯デバイスまたはデュアルモード電話で [DND コール拒否 (DND Call Reject)] をアクティブにすると、デバイスに通話情報が表示されません。

ステップ 6 [DND 着信コールアラート (DND Incoming Call Alert)] ドロップダウンリストで、DND がオンの場合に電話機で着信コールを表示する方法を次のオプションから選択します。

- [なし (None)] : 共通の電話プロファイルの DND 着信コールアラートの設定がこのデバイスで使用されます。
- [無効 (Disable)] : DND 呼出音オフ オプションでは、ビープ音およびフラッシュ通知の両方が無効ですが、着信通話情報は表示されます。コール拒否オプションでは、ビープ音およびフラッシュ通知が無効になり、着信通話情報はデバイスに送られません。
- [ビープ音のみ (Beep only)] : 着信コールの際、ビープ音のみ再生されます。
- [フラッシュのみ (Flash only)] : 着信コールの際、フラッシュアラートが表示されます。

ステップ 7 [保存] をクリックします。

次のタスク

次のいずれかの手順を実行します。

[サイレント機能ボタンの設定 \(6 ページ\)](#)

[\[サイレント\] ソフトキーの設定 \(8 ページ\)](#)

サイレント機能ボタンの設定

Cisco Unified IP Phone にサイレント機能ボタンを追加するには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	サイレントの電話ボタン テンプレートの設定 (6 ページ)	サイレント ボタンを含む電話ボタン テンプレートを作成します。
ステップ 2	電話機とボタン テンプレートの関連付け	サイレント ボタン テンプレートを電話に関連付けます。

サイレントの電話ボタン テンプレートの設定

[サイレント] ボタンが含まれている電話ボタンテンプレートを設定するには、次の手順に従います。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [電話ボタンテンプレート (Phone button template)] の順に選択します。
- ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックして、サポートされる電話テンプレートのリストを表示します。
- ステップ 3 新しい電話ボタンテンプレートを作成する場合は、この手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
 - a) 電話機モデルのデフォルトのテンプレートを選択し、[コピー (Copy)] をクリックします。
 - b) [電話ボタンテンプレート情報 (Phone Button Templates Information)] フィールドに、テンプレートの新しい名前を入力します。
 - c) [保存] をクリックします。
- ステップ 4 既存のテンプレートに電話ボタンを追加するには、次の手順を実行します。
 - a) [検索 (Find)] をクリックして、検索条件を入力します。
 - b) 既存のテンプレートを選択します。
- ステップ 5 [回線 (Line)] ドロップダウンリストから、テンプレートに追加する機能を選択します。
- ステップ 6 [保存] をクリックします。
- ステップ 7 次のいずれかの作業を実行します。
 - すでにデバイスに関連付けられているテンプレートを変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
 - 新しいソフトキーテンプレートを作成した場合は、そのテンプレートをデバイスに関連付けた後にデバイスを再起動します。

電話機とボタンテンプレートの関連付け

始める前に

[サイレントの電話ボタンテンプレートの設定 \(6 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックして、設定済みの電話のリストを表示します。
- ステップ 3 電話ボタンテンプレートを追加する電話を選択します。
- ステップ 4 [電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)] ドロップダウンリストで、新しい機能ボタンが含まれる電話ボタンテンプレートを選択します。
- ステップ 5 [保存] をクリックします。

電話の設定を更新するには[リセット (Reset)]を押すというメッセージ付きのダイアログボックスが表示されます。

[サイレント]ソフトキーの設定

これはオプションです。電話機でソフトキーを使用する場合、次のタスクを実行して、電話にサイレントソフトキーを追加します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	サイレントのソフトキーテンプレートの設定 (8 ページ)	[サイレント]ソフトキーを含むソフトキーテンプレートを作成します。
ステップ 2	次のいずれかの手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> 共通デバイス設定とソフトキーテンプレートの関連付け (9 ページ) 電話とソフトキーテンプレートの関連付け (11 ページ) 	[共通デバイス設定 (Common Device Configuration)]にソフトキーを関連付けて、電話グループにその設定を関連付けるか、電話機にソフトキーテンプレートを直接関連付けることができます。

サイレントのソフトキーテンプレートの設定

[サイレント]ソフトキーを含むソフトキーテンプレートを設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)]。
- ステップ 2 新しいソフトキーテンプレートを作成するには、この手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
- [新規追加] をクリックします。
 - デフォルトのテンプレートを選択して、[コピー (Copy)] をクリックします。
 - [ソフトキーテンプレート名 (Softkey Template Name)] フィールドに、テンプレートの新しい名前を入力します。
 - [保存] をクリックします。
- ステップ 3 既存のテンプレートにソフトキーを追加するには、次の手順を実行します。
- [検索 (Find)] をクリックして、検索条件を入力します。

b) 必要な既存のテンプレートを選択します。

- ステップ 4** [デフォルト ソフトキー テンプレート (Default Softkey Template)] チェックボックスをオンにし、このソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定します。
- (注) あるソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定した場合、先にデフォルトの指定を解除してからでないと、そのテンプレートは削除することができません。
- ステップ 5** 右上隅にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストから [ソフトキーレイアウトの設定 (Configure Softkey Layout)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 6** [設定するコール状態の選択 (Select a Call State to Configure)] ドロップダウンリストから、ソフトキーに表示するコール状態を選択します。
- ステップ 7** [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] リストから追加するソフトキーを選択し、右矢印をクリックして [選択されたソフトキー (Selected Softkeys)] リストにそのソフトキーを移動します。新しいソフトキーの位置を変更するには、上矢印と下矢印を使用します。
- ステップ 8** 追加のコール状態でのソフトキーを表示するには、前述のステップを繰り返します。
- ステップ 9** [保存] をクリックします。
- ステップ 10** 次のいずれかの作業を実行します。

- すでにデバイスに関連付けられているテンプレートを変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
- 新しいソフトキーテンプレートを作成した場合は、そのテンプレートをデバイスに関連付けた後にデバイスを再起動します。詳細については、「共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加」と「電話機のセクションとソフトキーテンプレートの関連付け」を参照してください。

次のタスク

次のいずれかの手順を実行して、ソフトキーテンプレートを電話に追加します。

[共通デバイス設定とソフトキーテンプレートの関連付け \(9 ページ\)](#)

[電話とソフトキーテンプレートの関連付け \(11 ページ\)](#)

共通デバイス設定とソフトキーテンプレートの関連付け

[サイレント] (DND) ソフトキーテンプレートを共通デバイス設定に関連付けるときに、DND ソフトキーを共通デバイス設定にて使用する Cisco Unified IP Phone のグループに追加できません。

始める前に

[サイレントのソフトキーテンプレートの設定 \(8 ページ\)](#)

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加 (10 ページ)	共通デバイス設定にDNDソフトキーテンプレートを関連付けます。
ステップ 2	電話機と共通デバイス設定の関連付け (10 ページ)	電話に共通デバイス設定を関連付けることで、電話にDNDソフトキーを追加します。

共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] を選択します。
- ステップ 2 新しい共通デバイス設定を作成し、それにソフトキーテンプレートを関連付けるには、この手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
- [新規追加] をクリックします。
 - [名前 (Name)] フィールドに、共通デバイス設定の名前を入力します。
 - [保存] をクリックします。
- ステップ 3 既存の共通デバイス設定にソフトキーテンプレートを追加するには、次の手順を実行します。
- [検索 (Find)] をクリックして、検索条件を入力します。
 - 既存の共通デバイス設定をクリックします。
- ステップ 4 [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウンリストで、使用可能にするソフトキーが含まれているソフトキーテンプレートを選択します。
- ステップ 5 [保存] をクリックします。
- ステップ 6 次のいずれかの作業を実行します。
- すでにデバイスに関連付けられている共通デバイス設定を変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
 - 新しい共通デバイス設定を作成してその設定をデバイスに関連付けた後に、デバイスを再起動します。
-

電話機と共通デバイス設定の関連付け

始める前に

共通デバイス設定とソフトキーテンプレートの関連付け (9 ページ)

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックし、ソフトキーテンプレートを追加する電話デバイスを選択します。
- ステップ 3 [共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] ドロップダウンリストから、新しいソフトキーテンプレートが含まれている共通デバイス設定を選択します。
- ステップ 4 [保存] をクリックします。
- ステップ 5 [リセット (Reset)] をクリックして、電話機の設定を更新します。

電話とソフトキーテンプレートの関連付け

[サイレント] ソフトキーを含むソフトキーテンプレートを設定していて、そのソフトキーテンプレートを電話に関連付けるには、次の手順を実行します。

始める前に

[サイレントのソフトキーテンプレートの設定 \(8 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックして、ソフトキーテンプレートを追加する電話を選択します。
- ステップ 3 [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウンリストから、新しいソフトキーが含まれているテンプレートを選択します。
- ステップ 4 [保存] をクリックします。
- ステップ 5 [リセット (Reset)] を押して、電話機の設定を更新します。

応答不可の連携動作と制約事項

このセクションは、サイレントの連携動作と制約事項に関する情報を提供します。

連携動作

次の表に、サイレント (DND) 機能の連携動作を示します。特に指定されていない限り、連携動作はサイレント呼び出し音オフおよびサイレントコール拒否オプションの両方に適用されます。

機能	サイレントとの連携動作
すべてのコールの転送	Cisco Unified IP 電話では、サイレント（DND）機能がアクティブであることを示すメッセージがユーザに新しいボイスメッセージが届いていることを示すメッセージよりも優先されます。ただし、不在転送機能がアクティブであることを通知するメッセージがDNDよりも優先されます。
パークの復帰	<p>ローカルにパークされたコールでは、パークの復帰がサイレントよりも優先されます。電話 A のサイレントがオンでコールがパークされた場合、電話 A へのパークの復帰が発生し、電話 A の呼び出し音が鳴ります。</p> <p>リモートにパークされたコールでは、サイレントがパークの復帰よりも優先されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話 A がサイレント着信音オフを有効化し、電話 A-prime と回線を共有する場合、電話 A-prime がコールをパークすると、電話 A のパークの復帰はサイレント設定に従い、呼び出し音は鳴りません。 • 電話 A がサイレント コール拒否を有効化した場合、パークの復帰は電話 A に表示されません。
ピック	<p>ローカルで発行されたピックアップ要求の場合、ピックアップがサイレントよりも優先されます。電話 A のサイレントがオンで、任意のタイプのピックアップを開始した場合、ピックアップ コールは通常どおり表示され、電話 A の呼び出し音が鳴ります。</p> <p>リモートで発行されたピックアップ要求の場合、サイレントが次のようにピックアップよりも優先されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話 A がサイレント着信音オフ モードで電話 A-prime と回線を共有する場合、電話 A-prime がピックアップを開始すると、電話 A へのピックアップ コールはサイレント設定に従い、電話 A の呼び出し音は鳴りません。 • 電話 A がサイレント コール拒否モードの場合、ピックアップ コールは電話 A に表示されません。
保留復帰とインターコム	保留復帰とインターコムはサイレントよりも優先され、コールは通常どおり表示されます。
MLPP と CER	Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) (SCCP を実行している電話) および Cisco Emergency Responder コールはサイレントよりも優先されます。MLPP および Cisco Emergency Responder コールは通常どおり表示され、電話呼出音が鳴ります。

機能	サイレントとの連携動作
コールバック	<p>発信側ではコールバックがサイレントよりも優先されます。有効化デバイスがサイレントモードの場合、コールバック通知（音声と表示の両方）は引き続きユーザに表示されます。</p> <p>着信側では、次のようにサイレントがコールバックよりも優先されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 着信側がサイレント着信音オフの場合、着信側がオフフックおよびオンフックになった後で、[コールバック使用可能（Callback Available）]画面が送信されます。 着信側がサイレントコール拒否で使用可能な場合、有効化デバイスが同じクラスタ内にあれば、新しい画面が有効化デバイスに送信され、「<DirectoryNumber>は応答可能になりましたが、サイレント - コール拒否状態です（<DirectoryNumber> has become available but is on DND-R）」と表示されます。コールバック使用可能通知は着信側がサイレントコール拒否を無効化した後にのみ送信されます。
ピックアップ通知	<p>サイレント着信音オフオプションの場合、デバイスに視覚的な通知のみが表示されます。</p> <p>サイレントコール拒否オプションの場合、デバイスに通知は表示されません。</p>
ハントリスト	<p>ハントリスト内のデバイスでサイレント着信音オフが有効化されている場合でも、コールは引き続きユーザに表示されます。ただし、DND着信呼警告の設定は引き続き適用される場合があります。</p> <p>ハントリスト内のデバイスでサイレントコール拒否が有効化されている場合、そのハントリストへの任意のコールは次のメンバーへ移り、このデバイスには送信されません。</p>
エクステンションモビリティ	<p>エクステンションモビリティの場合、デバイスプロファイル設定にDND着信呼警告とサイレントステータスが含まれます。ユーザがログインしてサイレントを有効にすると、DND着信呼警告とサイレントステータスの設定が保存され、ユーザが再度ログインするとこれらの設定が使用されます。</p> <p>(注) Extension Mobility にログインしているユーザが DND 着信コールアラートまたはサイレントステータスの設定を変更しても、このアクションは実際のデバイス設定に影響しません。</p>

制約事項

使用中の電話機やデバイスの種類によっては、DND の使用にいくつかの制約事項が適用されます。

- SCCP を実行している次の電話機のモデルやデバイスは、DND の [呼出音オフ (Ringer Off)] オプションのみサポートしています。
 - Cisco Unified IP 電話 7940
 - Cisco Unified IP 電話 7960
 - Cisco IP Communicator



(注) SIP を実行する Cisco Unified IP 電話 7940 および 7960 は、独自のサイレント機能を実装して使用しており、これには後方互換性があります。

- 次の電話機のモデルやデバイスは、DND の [コール拒否 (Call Reject)] オプションのみサポートしています。
 - モバイルデバイス (デュアルモード)
 - リモート宛先プロファイル
 - Cisco Unified Mobile Communicator

応答不可のトラブルシューティング

ここでは、Cisco Unified IP 電話 (SCCP および SIP) 向けのトラブルシューティング情報を提供します。

SIP 電話の場合、次の情報を使用してトラブルシューティングを行います。

- デバッグ : sip-dnd、sip-messages、dnd-settings
- 表示 : config、dnd-settings
- スニファトレース

SCCP 電話の場合、次の情報を使用してトラブルシューティングを行います。

- デバッグ : jvm all info
- スニファトレース

トラブルシューティングのエラー

次の表に、サイレントのエラーをトラブルシューティングする方法について説明します。

症状	アクション
DND ソフトキーが表示されません。 または DND 機能ボタンが表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> • この電話のソフトキーまたはボタンテンプレートが DND に含まれていることを確認します。 • スニファトレースをキャプチャし、電話に正しいソフトキーまたはボタンテンプレートが設定されていることを確認します。 • 電話ファームウェアのバージョンが 8.3(1) 以降であることを確認します。
BLF 短縮ダイヤルには DND ステータスは表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> • BLF DND がエンタープライズパラメータで有効に設定されていることを確認します。 • スニファトレースをキャプチャし、電話に正しい通知メッセージが設定されていることを確認します。 • 電話ファームウェアのバージョンが 8.3(1) 以降であることを確認します。
DND の変更はモニタデバイスには反映されません。	<ul style="list-style-type: none"> • BOT/TCT デバイスが、DND の状態が [オフ (OFF)] に設定された、共有回線デバイスであるかを確認します。ステータスが ON に設定されている場合、他の共有回線の DND ステータスへの変更は反映されません。 • 監視対象の回線の DND ステータスの変更を反映するために、BOT/TCT デバイスの DND ステータスが [オフ (OFF)] に設定されていることを確認します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。